

2024年度（平成6年度）西部地区小中一貫教育

1 福山市の小中一貫教育の目的

『福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる』

2 西部地区小中一貫教育のねらい

(1) 小中一貫教育の基本

- ① 西部地区の子どもを9年間で育てる。
- ② 知・徳・体のバランスの取れた、社会で通用する子どもを育てる。

(2) 教職員の意識

- ① 義務教育9年間で子どもの成長に連続性のある教育展開をする。
- ② 「主体的な学び」の授業づくりを推進し、指導内容・方法の工夫改善を図り、子どもたちに確かな学力を身につけさせる。
- ③ 自己肯定感を高めるため、「挨拶」「自己表現」を意識した取組みをする。

(3) 研究テーマ

『自ら考え、判断し、学び続ける児童・生徒の育成』

～表現力を中心に据えた「主体的な学び」「学力向上」「自己肯定感」～

(4) 育成する力

- ① 【知識・技能】 学習したことを自ら語れる。
- ② 【思考力・判断力・表現力】 根拠をもって判断している。解決のためのいろいろな見方、考え方をしている。自分の考えを相手にわかりやすいように伝える。
- ③ 【主体的に学ぶ力】 自ら課題を見出し、解決しようとしている。
- ④ 【自己形成力】 前向きにチャレンジし、自律・自立をしようとしている。自らに自信を持っている。

(5) 地区のめざす子ども像

- ① 確かな学力を身につけ、自ら進路を切り開く子ども
- ② 自己肯定感が高く、社会に貢献できる子ども

(6) 地区として統一した取組等

- ① 「主体的な学び」の授業に取組み、「学力の向上」を図る。
- ② 「挨拶」「自己表現力」に取組み、「自己肯定感」の向上を図る。
- ③ 「自分で選び・決める活動」に取組み「自己形成力」の向上を図る。
- ④ ICTを活用した効果的な授業実践及び業務改善の取組み。
- ⑤ 家庭での効率的な学習計画の立て方及び実践の取組み。
- ⑥ 「健康」の交流と実践。